

ミート・コンパニオンが食育フェアでTOKYO XをPR



(株)ミート・コンパニオン(阿部昌史社長)は9〜10日、東京・渋谷区の代々木公園で開催された「第12回東京都食育フェア」に出展。ブースではTOKYO Xを試食提供し、2日間合計で10kgを来場者に振る舞った。今回はTOKYO Xの豚肉そのものを味わってもらうため、バラを焼き肉にして、塩こしょうのみのシンプルな味付けで提供。試食した人にTOKYO Xに関するアンケートに回答してもらい、幅広い年齢層の人がTOKYO Xの味を高く評価した。さらに隣接ブースではBn CompanyがTOKYO Xを使用した福生市の福生ドッグを限定発売したほか、立川市発の3人制プロバスケットボールチーム「立川DICE」の試合会場などで人気のTOKYO Xのソーセージが使用された「立川DICE DOG」も販売され、来場者から好評を得た。

ミート・コンパニオンフードサービスの伊藤晴規部長は「普段は豚肉を嫌がって食べないお子さんが、今回の試食ではおかわりまでして食べたこととお母さんが驚かれるということもあった。実際、消費者の方に食べていただいた上で高い評価をいただけたことは大変うれしい」とした一方、「アンケートの回答を見ると、まだまだTOKYO Xを知らないという方も多い。消費者へのさらなる浸透を図ることが今後の課題であり、実際にTOKYO Xを買う場所、食べられる場所の情報を発信していくことで裾野を拡大していく。また、消費者の声を生産者にフィードバックすることで、さらなる品質向上へつなげていきたい」と話す。TOKYO Xの流通販売組織であるTOKYO X-Associationでは、販促用リーフレットなどに記載のQRコードから公式サイトを閲覧可能となっており、SNSを利用した情報発信なども行っている。公式サイトではTOKYO Xの販売店、提供店などをすぐに確認可能だ。